

## 日本放射線腫瘍学会からの粒子線治療に係る報告について

### 1. 背景

- 粒子線治療については、陽子線治療が平成13年7月から、重粒子線治療が平成15年11月から、限局性固形がんを適応症とした高度先進医療として開始され、平成24年10月以降は先進医療Aとして実施されてきた。
- 平成28年度診療報酬改定時に一部の適応症について保険適用するとともに、比較対照を厳格に設定するなど重点的な評価が必要な適応症（前立腺がん、肝臓がん、肺がん、膵臓がん等）については、先進医療Bに切り替えて実施することとした。
- 平成28年9月に開催した第45回先進医療会議において、日本放射線腫瘍学会（以下、「学会」という。）より以下の方針を示していただき、本方針については先進医療会議において適宜確認していくこととした。（参考資料1）

#### （先進医療Bについて）

- ・比較対象を厳格に設定するなど重点的な評価が必要な適応症（前立腺癌、肝臓癌、肺癌、膵臓癌など）については、先進医療Bとして実施する予定。
- ・同じ病態では先進医療Bを優先させ、適格基準を満たした場合には、先進医療Bの実施設に紹介する。
- ・先進医療Bの対象とならない症例に限り、先進医療Aで実施する。
- ・先進医療Bの対象となる症例が、先進医療Aに含まれていないかについて、中央モニタリングおよび施設訪問で調査する。

#### （先進医療Aについて）

- ・各疾患で、統一治療方針に基づき、先進医療Aでの症例集積を行っていく。
- ・また、これまで蓄積された既治療例に関しては、観察研究の結果を論文化していく。

（第45回先進医療会議 先-2-1より一部抜粋）

### 2. 学会からの粒子線治療に係る報告について

- 上記方針が確認されて1年が経過したため、先進医療の定期報告とは別に、学会より先進医療Aとして実施された粒子線治療、学会による施設訪問等に係る報告書を提出していただいた。（参考資料2）
- 今後も年1回程度、粒子線治療に係る報告書を学会にとりまとめていただき、先進医療会議へ定期的に報告することとしてはどうか。

○ なお、現在の先進医療Bの実施状況、申請状況等は以下のとおりとなっている。

	適応症	申請状況等
陽子線治療	肝癌（手術適応）	H29年6月1日より先進医療Bで開始
	肝癌（手術非適応）	H28年6月1日より先進医療Bで開始
	肝内胆管癌	H28年11月1日より先進医療Bで開始
	局所進行肺癌	事前相談中
	頭頸部癌	事前相談中
	局所進行食道癌	事前相談中
	局所進行膵癌	事前相談中
	前立腺癌	H29年7月1日より先進医療Bで開始
重粒子線治療	肝癌（手術非適応）	H28年6月1日より先進医療Bで開始
	早期肺癌	H28年7月1日より先進医療Bで開始
	局所進行膵癌	H28年10月1日より先進医療Bで開始
	直腸癌	申請者対応中
	前立腺癌	H29年1月1日より先進医療Bで開始